

MC-1 (K-1) 取扱説明書の 補足・訂正

「MC-1 (K-1) 取扱説明書」の一部について補足・訂正を行います。以下に記す内容につきましては、本文の内容に代って当補足、訂正文に従ってください。

注意

補足・訂正のある部分は必ず当補足・訂正文の内容に従って下さい。補足・訂正個所には~~~~ (波線) を入れております。

訂正 1 P.4セレクトレバーの操作は正しく確実に

セレクトレバーの操作は正しく確実に

- ギヤの切換えはミッション保護の為エンジン~~を切った~~状態で行ってください。
- 切換えは必ず完全停止時にゆっくり操作して下さい。
- アイドル回転の高い時、空吹かしした時はシフト操作はしないでください。(エンジンを一度止めてからシフト操作してください。)

- ギヤの切換えがスムーズにいかない場合は、サイドブレーキ、フットブレーキを解除してから操作してください。

訂正 2

P.4セレクトレバー位置は目で確認

セレクトレバー位置は目で確認

- エンジンを始動する前に、前進するときは[D] (後退は[R]) の位置にあることを目で確認してください。

訂正 3

P.13シフトノブの取扱い

シフトノブの取扱い

- シフトノブの操作は、必ず車輦が完全に停止している状態かつ、エンジン~~を切った状態~~でゆっくりと行います。
- [D]…ドライブ (前進)
- シフトノブが[D] の位置の場合、アクセルペダルを踏むと車輦が前進します。
- エンジン始動時にはあらかじめシフトノブを[D] に入れておきます。(前進したい場合)

R…リバース（後進）

- ・シフトノブがRの位置の場合、アクセルペダルを踏むと車は後進（バック）します。
- ・エンジン始動時にはあらかじめシフトノブをRに入れておきます。（後進したい場合）

訂正
4

P.19エンジン始動方法

エンジン始動方法

◆エンジンの始動

- ①パーキングブレーキが完全にかかっているかどうか確認します。完全にかかっていない時は、完全にかかるまでパーキングブレーキを引き上げます。
- ②セレクトバーをD（又はR）の位置にします。
- ③キーをONにして、ブレーキペダルを踏み込んだままスタートボタンを押します。（ブレーキペダルを踏まないとエンジンが始動しません。）
エンジンが始動したらボタンから手をはなしてください。
- ④始動後、（時に寒冷時に）オートチョークが作動しエンジン回転が高くなる為、ブレーキを解除すると

車が動く場合があります。ゆっくりとブレーキペダルを解除しスピードコントロールをしてください。

- ギヤチェンジはミッション保護の為エンジンを切った状態かつ車輦が完全に停止している状態で行ってください。

運転方法

◆発進と走行

- エンジン回転が下がりアイドリングの状態になったらブレーキペダルから足を離し、パーキングブレーキを戻しながらアクセルペダルを踏み込むと発進、走行ができます。
- アクセルペダルの踏み加減とブレーキペダルによりスピードを調整してください

⚠注意

- 次のような操作はトランスアクセルを破損するおそれがありますので、絶対にしないでください。
 - ・車が完全に停止する前にD、Rに入れる。
 - ・車を前進させているときにN、Rに入れる。
 - ・車を後退させているときにN、Dに入れる。

⚠ 注意

- エンジン回転が高い状態で発進する場合は車の発進が早くなります。暖気運転中に車を動かす場合はブレーキ操作を慎重に行ってください。
- **R** → **D**、**D** → **R** に切替える際は、車輛を完全に停止させ、エンジンをいったん切ってからシフト切換えを行ってください。
- 長い下り坂を **N** で走行しないでください。

訂正
5

P.43 サービスデータ

サービスデータ

バルブ（電球）の一覧

ターンシグナルランプ

20W